

## 2014 年度金沢大学短期留学生募集要項

短期留学とは、金沢大学との交流協定に基づいた交換留学で、学生は協定校に在籍したまま金沢大学に留学します。金沢大学での学位取得を目的とせず、金沢大学における学習、異文化体験、日本語の実地習得を目的として、おおむね6ヶ月以上12ヶ月以内の期間、金沢大学で教育を受けて単位を修得するか、研究指導を受けるものです。

	プログラムA	プログラムB	プログラムC	プログラムD	プログラムE
名称	金沢大学短期留学プログラム(KUSEP)	金沢大学日本語・日本文化研修プログラム	金沢大学一般短期留学プログラム	金沢大学セメスタープログラム	金沢大学科学技術短期留学プログラム(KUEST)
内容	<p>金沢大学の交流協定校からの学生に、日本語教育、英語等による日本事情・日本文化に関する科目、また様々な専門科目を提供する1年間の特別な教育プログラムです。貴学での専攻分野は問いません。1週間に5クラスの「日本語」授業と、その他一部の科目が必修です。そのほか、日本語能力が高い学生は、日本人学生と一緒に一般教養や専門の授業の一部を受けることができます。</p> <p>専門分野の研究に専念したい学生には、プログラムCが適しています。</p>	<p>金沢大学日本語・日本文化研修プログラムは参加学生の日本語能力の向上及び日本社会・文化に対する専門知識の体系的な習得を目的とした、全学習を日本語で行う1年間のプログラムです。本プログラムは、中・上級の日本語(週5講義)、金沢の豊かな伝統文化を含む現代日本社会・文化(週3講義)及び多言語・多文化に関する日本人学生との合同調査(週1講義)から構成されています。更に、日本に関するテーマを選び、1年間にわたり、修了研究を行います。</p>	<p>金沢大学の学域又は研究科の一つに所属して、その学域又は研究科で通常開講されている講義を受講、又は大学院で専門分野の研究を行うプログラムです。貴学での専攻分野は問いません。講義は日本語で行われますので、受講するには十分な日本語能力が必要です。大学院で専門分野の研究を行う場合は、英語で指導を受けることもできます。</p>	<p>金沢大学の交流協定校からの学生に、日本語教育、日本文化・社会に関する科目等を提供する半期間の単位互換型教育プログラムです。貴学での専攻分野は問いません。1週間に5クラスの「日本語」授業と、その他一部の科目が必修です。</p> <p>日本語能力が高い学生は、日本人学生と一緒に一般教養や専門の授業の一部を受けることができます。</p>	<p>金沢大学の交流協定校からの学生に、研究室での専門研究、日本語教育、英語等による日本事情・日本文化に関する科目、また様々な専門科目を提供する1年間の特別な教育プログラムです。貴学で理工系を専攻している学生が対象となります。研究室に所属し、専門研究を行うほか、1週間に5クラスの「日本語」授業と、その他一部の科目が必修です。</p>
① 受入計画数 ② 前年度受入実績数	① 2014 年度受入計画数：30 名程度 ② 2013 年度受入実績数：35 名	① 2014 年度受入計画数：10 名程度 ② 2013 年度受入実績数：14 名(大使館推薦除く)	① 2014 年度受入計画数：定数無し ② 2013 年度受入実績数：28 名	① 2014 年度受入計画数：15 名程度 ② 2013 年度受入実績数：12 名	① 2014 年度受入計画数：10 名程度 ② 2013 年度受入実績数：7 名
出願資格	<p>次の各号に掲げる要件すべてを満たす者</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>来日時に、金沢大学協定校の学部3年生、4年生又は修士課程の正規学生である者</li> <li>学業成績が優秀で、人物等に優れている者</li> <li>留学の目的及び計画が明確で、本プログラムの学習に専念する意志を有する者</li> </ol>	<p>次の各号に掲げる要件すべてを満たす者</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>来日時に、金沢大学協定校の学部3年生又は4年生の正規学生である者</li> <li>日本語・日本文化に関する教育を行う学部・学科に所属する者</li> <li>日本語能力試験2級合格程度またはそれ以上の日本語</li> </ol>	<p>次の各号に掲げる要件すべてを満たす者</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>来日時に、金沢大学協定校の正規学生である者</li> <li>学業成績が優秀で、人物等に優れている者</li> <li>留学の目的及び計画が明確で、本プログラムの学習に専念する意志を有する者</li> <li>金沢大学での留学期間終了後、在籍大学に戻り、学業を継続する者又は学位を取</li> </ol>	<p>次の各号に掲げる要件すべてを満たす者</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>来日時に、金沢大学協定校の学部3年生以上(博士課程の学生は受け入れない)</li> <li>大学での成績が優秀で、人間的にも優れている者</li> <li>留学の目的や計画が明確で、このプログラムの学習に専念する意志を有する者</li> </ol>	<p>次の各号に掲げる要件すべてを満たす者</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>来日時に、金沢大学協定校の学部3年生、4年生又は修士課程の正規学生である者</li> <li>学業成績が優秀で、人物等に優れている者</li> <li>理工系を専攻し、留学の目的及び計画が明確で、本プ</li> </ol>

	<p>4 金沢大学での留学期間終了後、在籍大学に戻り、学業を継続する者又は学位を取得する者</p> <p>5 金沢大学への留学にあたり、「留学」の在留資格を確実に取得できる者</p> <p>6 講義内容を理解できる英語の能力がある者（なお、日本での生活を円滑に過ごすため、渡日前に 100 時間以上の日本語教育を受けていることが望ましい。）</p> <p>7 心身ともに健康である者</p>	<p>能力を有する者</p> <p>4 在籍大学における学業成績が優秀で、人物等に優れている者</p> <p>5 金沢大学での留学期間終了後、在籍大学に戻り、学業を継続する者又は学位を取得する者</p> <p>6 金沢大学への留学にあたり、「留学」の在留資格を確実に取得できる者</p> <p>7 日本研究に対し、意欲的であり、1年間積極的な姿勢で本プログラムの学習に専念する意志を有する者</p> <p>8 心身ともに健康である者</p>	<p>得する者</p> <p>5 金沢大学への留学にあたり、「留学」の在留資格を確実に取得できる者</p> <p>6 金沢大学で開講されている講義を受講し、単位を修得することを希望する場合は、講義内容を理解できる日本語の能力がある者（人間社会学域での留学希望者は日本語能力試験N1相当の能力がある者）</p> <p>7 金沢大学の大学院で専門分野の研究を行うことを希望する場合は、日本語又は英語での指導を受けられる程度の語学力がある者</p> <p>8 心身ともに健康である者</p> <p>○備考：志願者は、あらかじめ指導を希望する金沢大学教員にコンタクトをとり、受入の承諾を得る必要がある。（申請書の所定欄に、受入教員の所属・氏名を明記すること。）</p> <p>金沢大学研究者情報  <a href="http://ridb.kanazawa-u.ac.jp/public/index.php">http://ridb.kanazawa-u.ac.jp/public/index.php</a></p>	<p>4 金沢大学での留学期間終了後、在籍大学に戻り、学業を継続する者。又は学位を取得する者</p> <p>5 金沢大学への留学のために、「留学」の在留資格を確実に取得できる者</p> <p>6 講義内容を理解できる英語の能力がある者</p> <p>7 日本語能力試験 N3 程度の日本語能力がある者</p> <p>8 心も体も健康な者</p>	<p>プログラムの学習に専念する意志を有する者</p> <p>4 専門的な研究活動に従事できる知識・能力がある者</p> <p>5 金沢大学での留学期間終了後、在籍大学に戻り、学業を継続する者又は学位を取得する者</p> <p>6 金沢大学への留学にあたり、「留学」の在留資格を確実に取得できる者</p> <p>7 講義内容を理解できる英語の能力がある者（なお、日本での生活を円滑に過ごすため、渡日前に 100 時間以上の日本語教育を受けていることが望ましい。）</p> <p>8 心身ともに健康である者</p>	
留学期間	2014 年 10 月～2015 年 8 月	2014 年 10 月～2015 年 8 月	<p>2014 年 4 月から 6 か月以上、12 か月以内</p> <p>ただし、金沢大学で開講されている講義を受講し、単位を修得することを希望する場合は、次のいずれかとします。</p> <p>①2014 年 4 月～2014 年 9 月</p> <p>②2014 年 4 月～2015 年 3 月</p>	<p>2014 年 10 月から 6 か月以上、12 か月以内</p> <p>ただし、金沢大学で開講されている講義を受講し、単位を修得することを希望する場合は、次のいずれかとします。</p> <p>①2014 年 10 月～2015 年 3 月</p> <p>②2014 年 10 月～2015 年 9 月</p>	2014 年 4 月～8 月	2014 年 10 月～2015 年 8 月
願書等の送付予定	2013 年 10 月	2014 年 1 月	2013 年 10 月	2013 年 10 月	2013 年 10 月	2013 年 10 月

応募締切	2014年2月28日(金)	2014年2月上旬(予定)	2013年11月22日(金)	2014年2月28日(金)	2013年11月22日(金)	2014年2月28日(金)
結果通知	2014年6月	2014年6月(予定)	2013年12月	2014年6月	2013年12月	2014年6月
奨学金	<p>金沢大学と学生交流の覚書を締結している協定校に在籍する学生には、日本学生支援機構(JASSO)から奨学金が支給される可能性があります(日本国政府と国交のある国の国籍を有する者。なお台湾、パレスチナの学生も対象とする)。</p> <p>奨学金:月額80,000円(※2013年度実績)</p> <p>なお、支給される条件は、上記の出願資格に加え、次の各号に掲げる要件すべてを満たす者となります。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 成績が優秀な者</li> <li>2 経済的理由により自費のみでの留学が困難な者</li> <li>3 他の団体等から受けている金沢大学留学に係る奨学金等の支給月額の合計が、80,000円を超えない者</li> </ol>	<p>日本政府(文部科学省)奨学金に申し込むことができます。</p> <p>2013年度の奨学金の金額は、下記のとおりでした。金額は今後改定される場合があります。</p> <p>奨学金:月額117,000円(※2013年度実績)</p> <p>旅費:渡日旅費及び帰国旅費</p> <p>なお、支給される条件は、上記の出願資格に加え、次に掲げる要件を満たす者となります。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 日本政府が承認している国の国籍を有する者</li> <li>2 2014年4月1日現在で満18歳以上満30歳未満の者(1984年4月2日から1996年4月1日までの間に出生した者)</li> <li>3 過去に日本政府奨学金を受給した者については、2014年10月1日現在で、奨学金支給期間終了から3年以上経過している者</li> </ol>	奨学金はありません。	奨学金はありません。	<p>金沢大学と学生交流の覚書を締結している協定校に在籍する学生には、日本学生支援機構(JASSO)から奨学金が支給される可能性があります(日本国政府と国交のある国の国籍を有する者。なお台湾、パレスチナの学生も対象とする)。</p> <p>奨学金:月額80,000円(※2013年度実績)</p> <p>なお、支給される条件は、上記の出願資格に加え、次の各号に掲げる要件すべてを満たす者となります。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 成績が優秀な者</li> <li>2 経済的理由により自費のみでの留学が困難な者</li> <li>3 他の団体等から受けている金沢大学留学に係る奨学金等の支給月額の合計が、80,000円を超えない者</li> </ol>	

各プログラム共通事項

- 1 応募者は、自分の在籍大学を通じて、金沢大学へ出願書類を提出します。
- 2 金沢大学は、選考機関の議を経て、受入候補者及び奨学金採用候補者を決定し、併せて受入部局を決定します。
- 3 学生が応募できるのは、プログラムA～Eのうち一つに限ります。
- 4 **JASSO または日本政府（文部科学省）奨学金応募者は、他大学の JASSO 奨学金プログラムや文部科学省奨学金、また、現地大使館を通しての文部科学省奨学金に併願申請することはできません。**
- 5 現役軍人又は軍属の資格のまま、応募することはできません。
- 6 授業料について

- (1) 本学と授業料の相互不徴収協定を締結している大学に在籍している学生のうち、他のプログラムで不徴収枠を使用していない場合は、覚書記載の交換留学の学生数分の授業料は徴収されません。
- (2) 相互不徴収協定を締結している大学からの交換留学の学生数が覚書記載の人数を超える場合、又は、覚書締結のない大学からの交換留學生の場合は、授業料を支払わなくてはなりません。2013年度の授業料の金額は、下記のとおりでした。授業料は今後改定される場合があります。

プログラムA プログラムB プログラムCのうち、金沢大学で開講されている講義を受講し、単位を修得することを希望する者 プログラムD プログラムE	1 単位につき 14,800 円  外国人留學生（専門分野の研究に専念する者を除く。）は在留資格取得のため、週 10 時間(7 科目程度)以上受講する必要があります。 (参考)7 科目 (通常 14 単位) 207,200 円/1 学期
プログラムCのうち、金沢大学で単位を修得する必要がなく、専門分野の研究に専念する者	1 か月につき 29,700 円

- (3) 文部科学省奨学金を受けるプログラムBの学生は、覚書による交換留學生数の制限や不徴収規定の有無にかかわらず、授業料は徴収されません。

7 宿舎について

金沢大学で手配します。(金沢大学で手配した宿舎ではなくアパートに住む場合は、自分で、不動産会社等でアパートを探さなければなりません。アパートに住む場合には、ワンルームのアパートで(台所、トイレ・バス付)家賃は月額 40,000～60,000 円、敷金・礼金で 150,000～300,000 円ほどかかります。また、日本のアパートには、通常家具等はありません。)

8 国民健康保険

金沢大学では、すべての留學生に「国民健康保険」に加入することを求めています。加入した場合、毎月 1,500 円程度の保険料を支払う必要がありますが、病気やけがをしたときの医療費(治療費や入院費など)の自己負担が 30%で済みます。

9 学生教育研究災害傷害保険

金沢大学では、すべての学生に「学生教育研究災害傷害保険」に加入することとしています。保険料は 1,000 円(1年間)です。金沢大学での教育研究活動などでの事故によって身体に障害を被った場合の補償制度です。

10 学生教育研究賠償責任保険

プログラム A、プログラム B、プログラム D、及びプログラム E の学生には、「学生教育研究賠償責任保険」に加入することとしています。保険料は 340 円(1年間)です。正課、学校行事または課外活動及びその往復において、他人にケガをさせた、他人の財物を損壊したことに対して負う法律上の損害賠償を補償するための補償制度です。

11 日本への入国

日本へ留学の目的で入国しようとする外国人は、パスポートの発給を受けた後、あらかじめ日本国大使館・領事館で留学のビザ(VISA)を受けることが必要です。ビザの申請については、次のとおりです。(ただし、プログラムBの学生で、文部科学省奨学金を受ける学生は、別の方法でビザを取得します。)

金沢大学が日本の入国管理局へ「在留資格認定証明書」を代理申請し、交付された「在留資格認定証明書」を学生に送付します。学生は、在外公館でパスポートとともに「在留資格認定証明書」を提示の上、「留学ビザ(College Student VISA)」を申請します。

この「在留資格認定証明書」は、日本上陸時にも提出しなければならないので、必ず持参してください。

問合せ先	住所	〒920-1192 石川県金沢市角間町 金沢大学国際機構支援室留學生係		
	電話	+81-76-264-5237 または 5293	FAX	+81-76-234-4043
	E-mail	st-exch@adm.kanazawa-u.ac.jp	ホームページ	http://isc.kanazawa-u.ac.jp/